

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日				
平成15年度	事業コード	32210	電話	042-769-8373
担当部課名	土木部	土木計画	課	道路計画 班
事務事業名	道路計画策定事業-交通バリアフリー			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備を進めます	事業開始年度
基本施策名	第2節	安全でゆとりある道路の整備	13年度
施策名	第1施策	人にやさしいみちづくり	

2 実施根拠及び関連法令等

高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律 相模原市交通バリアフリー基本構想

3 事務の区分

自治事務	4 経費の区分	5 事務事業の分類	6 受益者負担
	投資的経費	市単独事業	なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
バリアフリーのまちづくりの一層の推進を図るため、相模原市交通バリアフリー基本構想に定められている道路特定事業(歩道の整備・歩道の段差解消・E Vの設置・誘導案内施設の整備)を重点的かつ一体的に実施することを目的として、道路特定事業計画を策定するもの。	相模大野駅周辺地区 特定経路 5路線・ 南北駅前広場 準特定経路6路線 対象数 11路線2駅前広場
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
相模原市交通バリアフリー道路特定事業計画策定業務委託 決算額 3,517,500 円 予算額 4,080,000 円 委託内容 道路特定事業計画の策定に関すること。 (現況調査・整備方針の検討・整備計画書(特定経路、準特定経路、E V、誘導案内施設)の作成 E V設置の検討 道路特定事業計画検討会の運営及び資料作成) 事業内容 検討会(3回開催) 計画策定状況報告会(12/8開催) 庁内検討部会(9回開催) 意見募集(8月広報紙)	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	相模原市交通バリアフリー基本構想
計画年次	年度～22年度
	重点整備地区の選定及び重点整備地区(相模大野駅周辺)の移動円滑化のために実施する事業内容 重点整備地区以外の移動円滑化に係る方針

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)					
				12	13	14	15	16	
	検討部会等の開催率	(前年度開催回数+本年度開催回数)/全開催回数*100	部会等の開催率から計画の策定状況を見る		22	100			
	活動指標	検討部会等の所要時間率	(前年度所要時間+本年度所要時間)/全所要時間*100	部会等の所要時間率から計画の策定状況を見る		26	100		

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費					
決算(予算)額		0	3,517		
人員・時間数		308h	890h		
人件費		1,281	3,702		
その他経費					
合計	0	1,281	7,219	0	0
特定財源					
対象数		13	13		
対象の単位あたり経費	#DIV/0!	98.5	555.3	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	基本構想に基づく整備目標年次内(H22)の事業実施に向け、早期に計画書を作成した。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B : 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 少子高齢化社会の対応として求められている施策。策定に際しては、高齢者や障害者、地元商店会、自治会等を構成員とした検討会を開催し、計画への意見の反映を図った。
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	相模原市基本構想に基づいて策定している。 市の総合計画のバリアフリーの街づくりに整合する。
(4)効率性 評価 ▼	A : 優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	
(5)公平性 評価 ▼	A : 公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明:	手段	
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較
		平成12年11月に施行された交通バリアフリー法に基づき、昨年度、本市で策定した「交通バリアフリー基本構想」は、全国においても58市(3月現在)の策定にとどまっており、その実施計画である「道路特定事業計画」については、策定した市はない。
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 全国に先駆けて道路特定事業計画の策定に取り組んだ。 バリアフリーのみちづくりの推進のため実施する事業について、実施予定期間を明示、実現性のある計画を策定した。 策定に際しては、バリアフリー法の基本方針に基づき、高齢者、障害者等の利用者の意見の聴取に努めた。 今後の事業実施については、事業担当課対応。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input checked="" type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--